

やまなみ

2018
夏
vol.19

写真提供：南箕輪村「大芝高原まつり花火大会」

【特集記事】

**JOY（楽しむ）、JOIN（一緒に）、
JOB（仕事）～ほっとジョイブ開所！～**

【連載記事】

**事業所リレートーク
チャレンジ・アクション**

**障がい者就労支援における取り組みについて
つれづれ福祉**

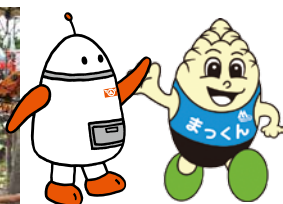
より身近な事業所をめざして／地域から吹き込んだ新たな風

平成30年度組織概要／平成30年度事業計画・収支予算書／
平成29年度事業報告・収支決算書／人事異動／プレゼント ほか



ほっとジョイブのある「南箕輪村」では、「人と人との
つながりを求めて」をキャッチフレーズに大芝高原まつ
りが盛大に開催されています。

(当事業団キャラクター「ワトワくん」と南箕輪村キャラクター「まっくん」)



今年の夏は本当に暑い夏でした。皆
さま、いかがお過ごしでしょうか。
さて本年度、当事業団上伊那北部ブ
ロックでは、多機能型事業所「ほっと
ジョイブ」を開所するとともに、共同
生活援助事業所を「ほっと上伊那」に
統合再編しました。当事者が「地域」
で支え合い、共に暮らししていく歩みを
一貫して支援してきた訳ですが、この
上伊那という風土と歴史の中で暮らし
が育まれてきたことも忘れてはなりま
せん。

長野県では、平成16年3月の「西駒
郷基本構想」の策定を機に、県内全域
で障がいのある方々の「地域生活移
行」が本格的に始動し、事業団はこの
取り組みの中核的な役割を担ってきま
した。現在、上伊那北部ブロックで
は、暮らしの場として25棟のグルー
プホームを運営するほか、うどんやラー
メン、パン製造販売等の働く場や活
動の場、相談の場、居宅や外出時の
サービス提供等、地道に取り組んで
いるところです。「ほっとジョイブ」
は地域交流型施設です。地域に根ざ
し、地元住民がほっとできる「上伊
那のジョイブ」として関わっていた
だけるよう取り組んでまいります。



長野県社会福祉事業団理事
上伊那北部ブロック長

「地域に根ざす、ほっとする」

矢花

尚利

JOY(楽しむ)、JOIN(一緒に)、JOB(仕事)

～ほっとジョイブ開所!～



開所式にワトワくんも登場

平成30年4月1日、南箕輪村に多機能型事業所「ほっとジョイブ」を開所しました。当事業所は、前身の「ほっとワークス・みのわ」として近隣の箕輪町で約13年間地域の皆様に支えられながら運営して参りましたが、事業規模に対してスペースに限りがあったため、この度ご縁があつて南箕輪村へ移転新築を行い新たな一歩を踏み出しました。

「ジョイブ」という単語は、JOY(楽しむ)、JOIN(一緒に)、JOB(仕事)を合成した造語になりますが、この3つのJをキーワードにして「様々な障がいのある方の『働く』と『暮らし』を支援します」をモットーに掲げ【地域と共に喜びを分かち合い、繋がっていく「ほっと」な場所でありたい】という願いが込められています。

立上げの経緯



南箕輪村 唐木村長からの祝辞



地元和太鼓サークル「風神雷神」によるオープニングセレモニー

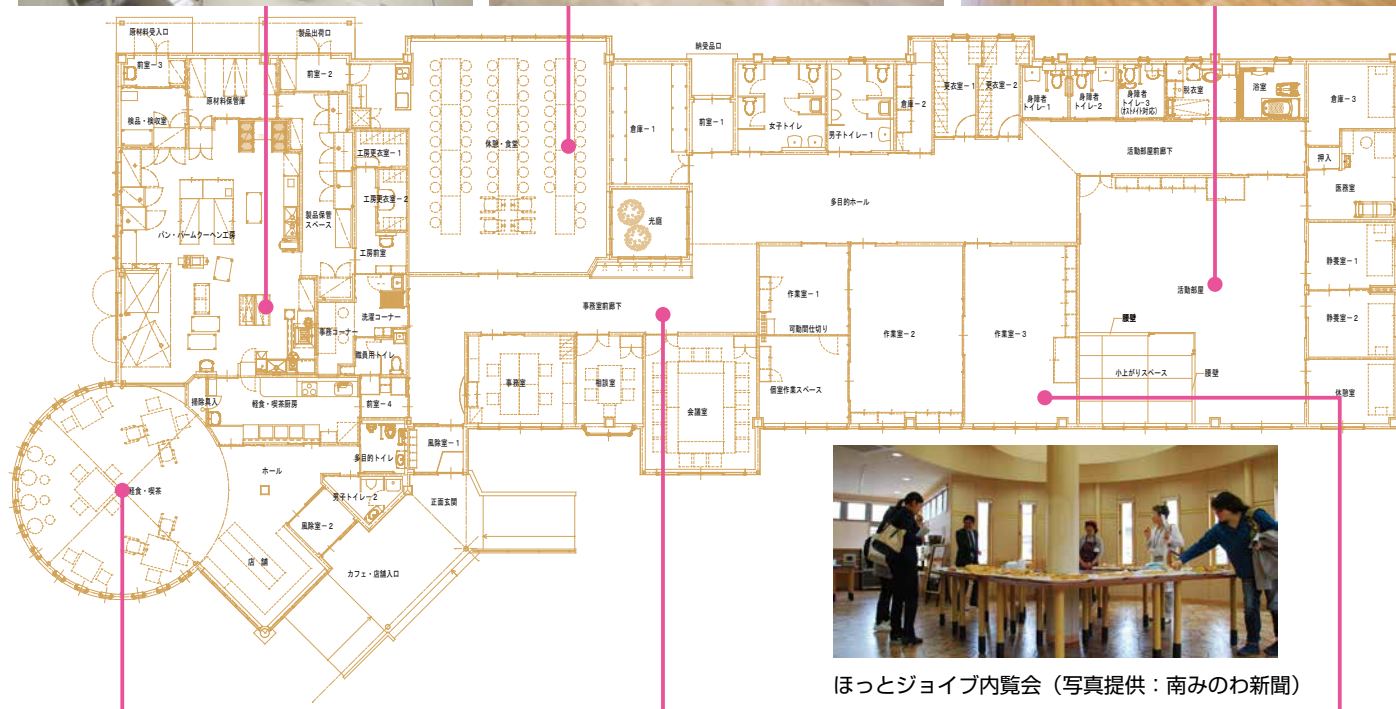
こむぎ工房



食堂



活動室



ほっとジョイブ内覧会 (写真提供: 南みのわ新聞)



軽食・喫茶



廊下



作業室

事業内容

●就労継続支援B型事業

働き続ける喜びを 定員20名

「こむぎ工房」パン、バウムクーヘンの製造・販売、地域への出前販売を行っています。イトインコーナーでは、どなたでも気軽に立ち寄ってもらい、ほっとできる空間を提供します。

「ワークス」近隣の企業からの作業を受託し、個々の特性に合わせた作業を行っています。農作業等を生活介護と共同で行い、新鮮野菜等の生産に取り組みます。

●生活介護事業

暮らしに喜び・楽しみを 定員20名

「作業・創作・リハビリ」個別に合った作業活動や農作業、創作活動等様々な活動を行っています。理学療法士のアドバイスを受け、リハビリを行います。

「入浴」希望により入浴サービスを提供します。

●特定相談支援事業

安心できる相談を 住み慣れた地域で安心して生活ができるように、利用者の「想い」や「希望」を一緒に考えます。

関係者の声

利用者 小椋正文様



ほっとジョイブは、広くて仕事しやすいと思います。受託の仕事や、畑作業をとて楽しくやっています。

伊那養護学校長



片桐俊男様

ほっとジョイブが開所しました。真新しく明るい施設、地域がつながるホットな場所になると確信しています。伊那養護学校の卒業生もお世話になります、どうぞよろしくお願いいたします。

利用者 内堀吉人様



ほっとジョイブに来てよかったです。仕事もあつていと思うし、塗り絵や工作をするのもとても楽しいです。趣味の写真もたくさん撮って飾って皆で楽しんでいます。

ご家族



向山和実様（向山弘樹様父）

四月から別の事業所からの移動で不安もありましたが、皆さんのご支援で現在は安心して過ごせて入浴も楽しみの一つです。今後も日中活動の中心の場所となり安心して過ごせるよう、応援していきたいと思っています。

ほっとジョイブ



所長 三澤淳子



私ども長野県社会福祉事業団は「誰もが笑顔で輝く社会を創造します」という法人理念のもと、その歩みを進めています。障がいのある無に関わらず誰もが気軽に集い、ほっとできる空間と時間を共有できる場となるよう、当事業所内には利用者様やそのご家族はもちろん、地域の皆様にも気軽に立ち寄っていただき、パンやバウムクーヘン等をご賞味いただける喫茶室をご用意しています。

今後とも利用者様の夢に寄り添いながら職員一同情熱を傾け、地域や関係機関の皆様からの変わらぬお力添えを支えに、美しい自然に恵まれたここ信州の南箕輪村からより一層大きく羽ばたいて参ります。

アクセス

J R飯田線 北殿駅から徒歩17分
中央自動車道 伊北ICから車で15分

【問い合わせ】

〒399-4511
長野県上伊那郡南箕輪村76-1
TEL:0265-96-0795
FAX:0265-96-0799

事業所名: ほっとジョイブ

種別: 多機能型事業所
(就労継続支援B型事業・生活介護事業)
相談支援事業(特定相談支援事業)

設置: 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団

運営: 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団

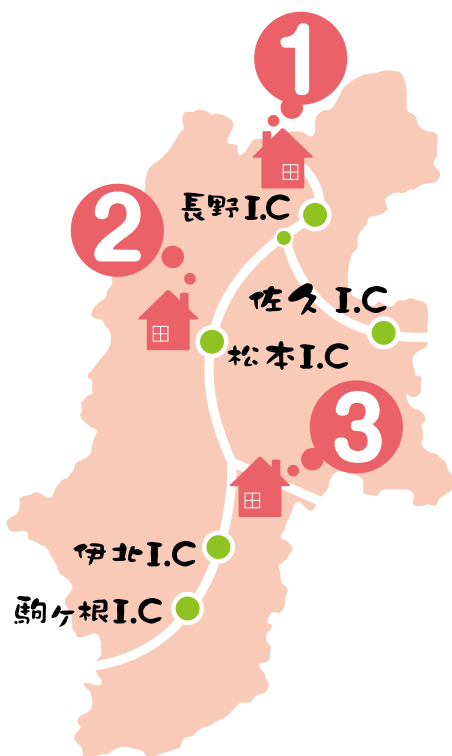
建物構造: 鉄骨造平屋建

敷地面積: 2,996.57㎡

建築面積: 930.593㎡

開設日: 平成30年4月1日





① 水内荘

～長野ブロック公開講座開催～



水内荘を含む長野ブロック6事業所では定期的に職員研修会を行っていますが、今年度より「地域における公益的取組」の一環として、地域の皆様にもご参加いただけるよう公開講座を開催することとしました。

その第1回目として去る8月23日、「成年後見のおはなし」というタイトルで長野市社会福祉協議会の野口一輝氏にご講義いただき、地域の皆様を含め約50名が受講しました。

「成年後見制度」というと難しいイメージもありますが、パンフレットによる分かりやすい説明があった後、実際の事例とその際の対応についてご紹介いただき、参加者それぞれの視点から成年後見制度を身近なものとして学ぶことができました。

今後は地域の皆様の希望を取り入れて公開講座のテーマを決めるなどしながら、地域全体で学んでいければと思います。
(増田)



② 松本ひよこ

～祝！松本ひよこ 開所10周年～

松本ひよこは平成20年4月、NPO法人ひよこから事業移譲を受け開所しました。生活介護と就労移行支援事業から始まった事業も、グループホームを4棟建て、重度障害者等包括支援事業を始め、さらに就労継続支援B型事業を始め、10年経った現在56名が利用されています。6月16日(土)には恒例のひよこ祭に併せて10周年記念式典を行い、ご来場いただいた大勢の皆様と盛大に祝うことができました。



これもひとえに地域、関係者の皆様のご支援ご協力のおかげと深く感謝いたします。これからも地域に根差し開かれた事業所として関係機関・地域の皆様とのつながりを大切にし、20周年に向けて頑張っていきたいと思っています。

(土屋)

③ 辰野町地域活動支援センター「つむぎ」

～アルミ缶回収～「収集ボランティアの会」から「つむぎ」へ～



辰野町地域活動支援センター「つむぎ」では、辰野町の「収集ボランティアの会」の活動の一部を引き継ぎ、平成29年11月から月2回のアルミ缶回収を始めました。「収集ボランティアの会（個人64名、企業23企業*）」は平成12年から地域美化とボランティア推進を目的にアルミ缶回収を実施してきましたが、

会員の高齢化と後継者不足が課題となっており、今回「つむぎ」に声をかけていただきました。（※平成28年度会員数）

屋内での作業が主だった利用者の方々が屋外での作業に取り組むことで、地域の方に「つむぎ」を知っていただいたり、町内の生活介護事業所からも同様の取り組みをしたといった問い合わせがあるなど、今回の作業をきっかけに他事業所とのつながりや住民とのつながりが深まることを期待しています。（吉野）



「障がい者就労支援に おける取り組みについて」

上伊那圏域障がい者
総合支援センター「きらりあ」

(上伊那圏域障害者就業・生活支援センター)

生活支援ワーカー 小平 愛^{めぐみ}

精神障がい者への職場定着支援事業(国事業)を、全国334か所設置されている障害者就業・生活支援センターの中から、当所を含む7か所が指定を受けました。

近年、就労分野における精神障がい者への支援のニーズが増大しており、雇用された後の職場定着支援について更なる充実・強化が求められています。そこで、職場定着を一層推進するために、SSTを活用したグループワークを実施することになりました。



SSTプログラム 1年間のテーマ

5月 あいさつ・自己紹介

7月 お願いする

9月 相手の話を聞く

11月 断る練習

1月 指示を受ける・尋ねる

3月 報告・連絡・相談



働くうえで、作業の正確さやスピードを求められることは当然ですが、同時にコミュニケーション能力を身に着けることも重要なスキルとなります。そのために、相手への情報の伝え方や聞く力を身につけ、実践できるように繰り返し練習します。

平成30年5月26日(土)に実施した初回では、9名の方が参加しました。内容は「あいさつ・自己紹介」をテーマに、新入社員が入社した時あるいは異動で上司が替わった時などを想定

し、参加者個々の状況に合わせてながらロールプレイを行いました。

あいさつや自己紹介は、普段私たちが当たり前のようにしている動作ですが、そのやり方ひとつひとつを丁寧に見つめ直すことはとても重要なことと感じました。働く障がい者が今よりも働きやすい職場となるように、自らの行動や態度によって変えていけたなら素敵なことです。そのために、この講座を通して少しずつ前進できればと思っています。

5月 参加者の声

「挨拶という当たり前のことも、奥が深いものだと感じた」
「自己紹介をする時の順序やコツを具体的に示してくれたので、実践しやすかった」
「周りの方の自己紹介を見ることが、勉強になった」



● 平成29年度 長野県社会福祉事業団 実務論文の選考結果発表! ●

長野県社会福祉事業団では職員の職務に必要な支援(指導)技能の向上やモチベーションアップ等を目的に、平成22年度から隔年で実務論文集を発行しています。

今年、平成30年5月29日(火)に平成29年度に応募のあった実務論文について選考を行い、優良賞及び準優良賞を左記のとおり選考しました。

なお、入選した4論文について、平成30年度全体研修にて表彰式と発表を行いました。

実務研究論文表彰

優良賞 小出千広(信濃学園)
「YOICOOを用いた生活記録を見える化する試み——心理学的観点からの一考察——」

準優良賞 小林明善、牛丸幸一、傳田奈央(松本ひよこ)
「Fさんの行動変容と個別支援が与えた影響について(波田しなのハイッでの取り組みについて)」

佳作 上杉晴樹(松本あさひ学園)
「発達障害をもつAさんの支援について」

佳作 棚田英孝、塚田啓祐、浅井美奈子、牧野清子、萩原真理、宮之本一宏(みのちグループホームセンター)
「グループホームでのより豊かな暮らしを目指して」

※(一)内の所属は論文提出時



全体研修での発表風景
(上杉心理治療員)

より身近な事業所をめざして ～今年も盛大に親子レクリエーション開催（歩楽里）～

さんらくかい
山楽会

高澤千明様

歩楽里さんとの付き合いは長野県長寿社会開発センターが主催するタウンミーティング（ボランティア団体と事業所のマッチング事業）がきっかけでスタートしました。

最初の交流イベントでは火打ち石で火をおこして、その火でマシュマロを焼いたりしたのですが、初めての体験に目を輝かせる皆さんの姿がとても印象的でした。

「ボランティア」とか難しく考えず、これからも楽しくお付き合いできればと思います。



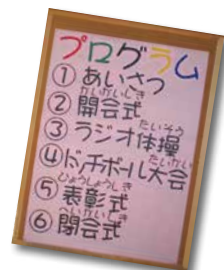
「山楽会」は山登りをはじめ「山や自然」をテーマとするボランティア活動を行っている同好会で、歩楽里では今までに「火打ち石でのBBQ」や「竹を使った炊飯」など様々な体験をさせていただいています。今回も準備段階から親子が参加でき、かつ楽しめる内容を企画、実施してくださいました。

今回、親子レクリエーションが、利用者・ご家族の皆さんと地域との交流のきっかけとなった点が大変嬉しく感じています。このつながりを大切に、地域にとってより身近な事業所となるよう、さらに多くの地域の皆さんに当所の行事やイベント等に参加していただき、地域との和と輪を築いていきたいと思っています。

（井浦）

5月27日（日）、当所の恒例行事となった「親子レクリエーション」を水内荘を主会場に開催しました。当日は晴天にも恵まれ、利用者・ご家族27名、職員12名、そして地域のボランティア団体「山楽会」14名の総勢53名にご参加いただきました。

今年度は「ふらりんピック」と称してスポーツ大会（ドッチボール大会）を行いました。「こどもチーム」、「お父さんチーム」、「お母さんチーム」、「山楽会チーム」の計4チームによるトーナメント制で順位を競いました。どの試合も熱い戦いが繰り広げられ、汗だくになりながらも、楽しく充実した時間を過ごすことができました。



地域から吹き込んだ新たな風 ～第三者委員 訪問交流の日（西駒郷）～



西駒郷第三者委員

中城正明様

本年度より、西駒郷への理解を深めるため、利用者さんと一緒に作業をする中で会話や懇談を行いました。

作業場では、利用者さんがそれぞれのできる範囲で一生懸命作業をしています。

懇談では、日ごろ外部の方と接触する機会が少ないせいか初めは緊張した様子でしたが、慣れるにつれて日々の出来事や故郷のこと、家族のことなどいろいろなお話をしました。

第三者委員としては、利用者さんに積極的な挨拶や話しかけ等を行うことで、距離を近づけていくことが重要であると感じました。

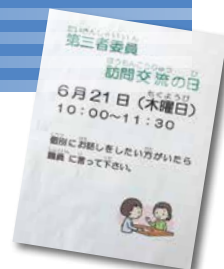


1回目は面談の希望がありませんでしたが、2回目は前回の様子がわかったため複数の利用者さんから面談希望がありました。約30分の面談でしたが、利用者さんからは「お知らせを見て話したいと思った。仕事や寮の話を楽しく話した。またあるの？」とのお話があり、晴れやかな顔が見られました。委員の方からも「特に苦情が聴かれることもなく、楽しい話を聞かせてもらっています」との感想をいただきました。

宮田支援事業部では今後もこのような訪問交流を重ね、外部の方とお話する機会を大切にしたいです。また将来的には、利用者さんだけでなく職員の声や、西駒郷全体へのアドバイスいただけるようになれば、と考えています。

（今村）

西駒郷では昨年度から第三者委員を6名に増員し、苦情解決委員会の充実を図っています。今年度さらなる充実を目指すため、宮田支援事業部では「第三者委員の定期的な訪問による利用者との交流を通じて、必要な意見を挙げていただき、風通しの良い施設環境作りをする」という目的で、毎月第三木曜日の10時～11時30分に利用者さんの日頃感じている事や、悩みなどを汲み取っていただく機会を設けました。



平成30年度 組織概要

平成30年4月1日現在

【長野ブロック】

① みのちそう 水内荘

・施設入所支援事業（定員40人）、生活介護事業（定員60人）
・短期入所事業（併設型6人）、相談支援事業（一般・特定）

② みのちグループホームセンター

・共同生活援助事業（12ホーム 定員65人）

③ 歩楽里

・相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、放課後等デイサービス事業（定員10人）
・居宅介護事業（行動援護・身体介護・家事援助・通院介助）、地域生活支援事業ほか

④ やくもびより 八雲日和

・生活介護事業（定員25人）、就労継続支援B型事業（定員25人）

⑤ こはるびより 小春日和

・就労移行支援事業（定員6人）、就労継続支援B型事業（定員14人）

⑥ 長野市地域活動支援センターこぶし

・地域活動支援センター事業（定員15人）

ブロック長 小島 健一（水内荘所長）

副ブロック長 板倉 吉子（八雲日和所長）

【障がい者福祉センターブロック】

⑧ 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

・障がい者のスポーツ・文化活動支援事業

⑨ 障がい者スポーツ支援センター長野「サンスポートながの」

・サンアップルの北信サテライト事業所

⑩ 障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポート駒ヶ根」

・サンアップルの南信サテライト事業所

⑪ 障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」

・サンアップルの中信サテライト事業所

⑫ 障がい者スポーツ支援センター佐久「サンスポート佐久」

・サンアップルの東信サテライト事業所

ブロック長 佐藤 靖（障がい者福祉センター所長）

副ブロック長 山崎 珠美（障がい者福祉センタースポーツ課長）

【松本ブロック】

⑦ 信濃学園

・福祉型障害児施設入所事業（定員30人）
・短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業
・施設入所支援事業・生活介護事業
※18歳以上対象、障害児入所事業の定員内で実施

⑧ 松本あさひ学園

・児童心理治療施設（入所30人、通所5人）

⑨ 松本ひよこ

・生活介護事業（定員21人）
・就労継続支援B型事業（定員18人）、相談支援事業（一般・特定・障害児）
・共同生活援助事業（4ホーム定員23人）
・重度障害者等包括支援事業（定員5人※生活介護事業、共同生活援助事業を含む）

⑩ 大北圏域障害者就業・生活支援センター

・障害者就業・生活支援事業

ブロック長 森岡 恵子（信濃学園所長）

副ブロック長 小澤 聖（松本あさひ学園次長）

⑬ 本部事務局

・事業団が経営する各事業所の管理運営における調整
・介護福祉士修学資金等貸付事業ほか

【上伊那南部ブロック】

⑭ にしこまごう 西駒郷

（駒ヶ根支援事業部、宮田支援事業部）
・施設入所支援事業（定員125人）、短期入所事業（空床型）
・生活介護事業（定員160人）
・就労継続支援A型事業（定員20人）
・就労継続支援B型事業（定員54人）、就労移行支援事業（定員6人）
・相談支援事業（一般・特定）、自活訓練事業

ブロック長 塩沢 総夫（西駒郷所長）

副ブロック長 北嶋 昭（上伊那圏域障がい者総合支援センター専門幹）

⑮ 上伊那圏域障がい者総合支援センター「きりりあ」

・相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、障がい児等療育支援事業
・発達障がいサポートマネージャー整備事業、障害者就業・生活支援センター事業ほか

【上伊那北部ブロック】

⑪ ほっと上伊那

・共同生活援助事業（25ホーム 定員133人）、居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介助）、行動援護、地域生活支援事業

⑫ 伊那ゆいま〜る

・生活介護事業（定員15人）、就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑬ ほっとジョイブ

・生活介護事業（定員20人）、就労支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑭ 辰野町障がい者就労支援センター「工房めくもり」

・就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑮ 辰野町地域活動支援センター「つむぎ」

・地域活動支援センター事業（定員20人）

ブロック長 矢花 尚利（ほっと上伊那所長）

副ブロック長 宮下 敦志（伊那ゆいま〜る所長）

※兼務のある職員の所属・職名は主たるものを掲載

平成30年度 長野県社会福祉事業団重点施策

1 権利擁護（虐待根絶）の推進

- (1) 事業団委員会（支援部門）及び各事業所単位又はブロック単位に設置した虐待防止委員会がそれぞれの立場での検証を基に今後の支援体制のあり方や効果的取組について見直します。
- (2) 虐待防止、権利擁護に関する研修等を各事業所はじめ、事業団全体、ブロック単位で実施します。

2 リスクマネジメントの強化

運営委員会が中心となり各事業団委員会（支援部門）において、過去に発生した事故や災害、各支援現場で発生しやすい内容の検証を基に、リスク想定した点検とマニュアルの整備を実施します。

- ・事業団委員会…発生しやすいリスクの検証と点検項目の設定
- ・各事業所……点検実施及び改善とマニュアル整備

3 コンプライアンスの周知徹底

法令や事業団の諸規程、事業所内ルールについて、職員一人ひとりがその意義をしっかりと理解し当事者意識を共有できるよう、講習会や周知徹底のため資料の配布を実施します。

4 ライフステージに応じた支援体制の強化

事業団では、児童期から高齢期までステージごとに切れ目なくサービス提供ができる事業を展開していますが、ステージを移動する際に利用者が混乱や、後戻りをしない一貫性のある支援体制の構築や共生型サービスの導入に向けた課題検討を実施します。（ライフステージ委員会）

平成30年度 長野県社会福祉事業団収支予算書

(単位：千円)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	増 減	科 目		本年度予算額	前年度予算額	増 減		
事業活動による収支	収 入	児童福祉事業収入	199,000	198,000	1,000	施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	0	127,000	△ 127,000	
		保育事業収入	0	2,330	△ 2,330		施設整備等寄付金収入	0	5,730	△ 5,730	
		就労支援事業収入	112,284	107,117	5,167		設備資金借入金収入	500	27,145	△ 26,645	
		障害福祉サービス等事業収入	2,658,278	2,488,858	169,420		固定資産売却収入	203	0	203	
		貸付事業収入	25,727	0	25,727		その他の施設整備等による収入	0	4,000	△ 4,000	
		その他の事業収入	313,130	326,749	△ 13,619		施設整備等収入計(4)	703	163,875	△ 163,172	
		経常経費寄附金収入	30	530	△ 500		設備資金借入金元金償還支出	18,680	20,541	△ 1,861	
		受取利息配当金収入	735	738	△ 3		固定資産取得支出	6,472	387,091	△ 380,619	
		その他の収入	23,782	24,696	△ 914		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,118	2,118	0	
		事業活動収入計(1)	3,332,966	3,149,018	183,948		施設整備等支出計(5)	27,270	409,750	△ 382,480	
	支 出	人件費支出	2,241,279	2,139,052	102,227	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 26,567	△ 245,875	219,308		
		事業費支出	1,005,404	414,420	590,984	その他の活動による収支	積立資産取崩収入	675,266	694,250	△ 18,984	
		事務費支出	536,644	368,013	168,631		収入 その他の活動収入計(7)	675,266	694,250	△ 18,984	
		就労支援事業支出	112,284	107,117	5,167		支出 長期貸付金支出	0	474,040	△ 474,040	
		支払利息支出	1,911	2,228	△ 317		積立資産支出	50,940	44,479	6,461	
		その他の支出	18,172	19,734	△ 1,562		その他の活動支出計(8)	50,940	518,519	△ 467,579	
		事業活動支出計(2)	3,915,694	3,050,564	865,130		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	624,326	175,731	448,595	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 582,728	98,454	△ 681,182		予備費支出(10)	4,700	20,276	△ 15,576	
							当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	10,331	8,034	2,297	
							前期末支払資金残高(12)	572,932	511,894	61,038	
					当期末支払資金残高(11)+(12)		583,263	519,928	63,335		

新たに設定した法人理念『誰もが笑顔で輝く社会を創造します』に基づき作成した「第3次長期構想（平成29年4月から平成34年3月までの5年間）」に沿って事業を推進しました。



① 経営・組織体制の確立

(1) 事業団委員会の運営

新たな課題等への対応を行う下記プロジェクトを新設して検討を行いました。

委員会名	検討内容
地域貢献委員会	・法人として取り組むべき地域貢献のアイデアを取りまとめ経営委員会に提案（次年度検討）
事務業務整備委員会	・「マニュアルの作成」、「経費削減に向けた取組み」、「ITシステムの効果的な運用」、「情報管理指針の作」の各課題についてグループごとに検討 ・「経費削減に向けた取組み」についてアンケートの実施
西駒郷のあり方検討会	・「県のあり方検討会報告」に基づく法人としての方向性について西駒郷整備委員会と合同にて検討（次年度継続）
ほっとワークス・みのわ移転検討会	・移転に向けてブロック内で協力して取り組むため日程や分担を確認
豊智福祉会連携検討会	・豊智福祉会との統合に向けた意見交換を複数回実施

(2) 人事制度の定着化

職員意欲と資質向上を図ることを目的に実施している、目標管理制度及び勤務評価制度について、目標設定時の公平性の観点や評価方法等に不整合が生じているため、運営委員会にて改善に向けた課題整理を行い、次年度改善に向けた準備を進めました。

また、新たに高校生枠とし採用募集を行いました。認知度が薄く応募者を募ることが出来ませんでした。引き続き採用方法等を検討するとともに、他の福祉他団体等とも連携し、福祉人材の確保に向けた取組を実施していくこととしました。

(3) 人材育成

- ・支援技術（意思決定支援）の向上を図るために介護保険施設（長野、上伊那各1ヶ所）への体験研修を行いました。（係長、主任各1人）
- ・発達障がい児者への取り組みを学ぶために長期派遣研修（期間：1か月、研修先：（社福）林檎の里 障がい者支援施設あおぞら）を行いました。（支援員1人）

*体験・派遣研修で得た知識・技術は、伝達研修を行い周知しました。

② 管理業務の充実

(1) 権利擁護の充実

近年発生してしまった利用者への権利侵害を反省しつつ、障がい者への虐待の根絶を目指して法人、ブロック、事業所ごと研修等を実施しましたが、いくつかの虐待及び疑わしい事案が発生してしまいました。

発生してしまった事案については、「利用者虐待の防止と対応マニュアル」に基づき原因の追究と改善策を検討、再発防止に努めました。

(2) 顧問弁護士の配置

事業の拡大により、利用者、職員とも増加する中で、「利用者が安心・安全な環境」「職員が安全に働ける環境」を確保するとともに、トラブルの未然防止や起きてしまったトラブルに迅速に対応するため、顧問弁護士に相談できる体制を取りました。

(3) 監査体制の充実

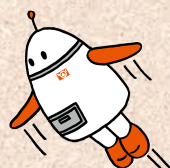
ア 内部監査室の設置

業務の適正及び効率性を確保するため、業務執行機関から独立性を有する内部監査室を設置、業務を執行する各事業所の職務執行状況等について監査を実施しました。監査の結果、職員管理関係、利用者の処遇、施設運営関係等について次年度改善を予定しています。

また、法令又は事業団の諸規程に違反する行為の早期発見とその是正並びに通報者の保護を図るため通報制度を定めました。

イ 会計監査人監査

改正社会福祉法により、一定の事業規模を超える社会福祉法人に対し、法人への信頼を確立するとともに、法人の経営力、財務規律の強化を図るため、会計監査人の監査が義務付けられ、当法人でも会計監査人を選任し、監査を実施しました。



③ 各事業所の主な取組

(1) 大北圏域障害者就業・生活支援センター

本年度から事業団が指定事業者に選定され、事業を開始しました。事業団としては大北圏域で初めての事業運営であったため、圏域内の行政機関や福祉サービス事業所、医療機関、教育機関等との関係作りにも努めました。

(2) ほっとグループホーム伊北／伊南／居宅

管理部門の統合による業務の効率化と安定的な経営を確保するとともに支援体制の強化を図るため、平成30年度から3事業所（ほっとグループホーム伊北／伊南／居宅）は統合再編成し「ほっと上伊那」として運営することとしました。

(3) 伊那ゆいま～る（伊那市）

道路工事に伴う事業所移転のため伊那市内の県有地を候補地として県と交渉に入りました。

(4) ほっとワークス・みのわ（箕輪町）

南箕輪村内への移転新築の社会福祉施設等整備事業補助金の交付が得られ、建物建築工事を行い、年度末に完成しました。名称は、「ほっとジョイブ」とし、新規事業所での事業開始に向けて利用者の確保についても検討し、各関係機関との連携を深めて情報交換を図りました。

平成29年度 収支決算書（法人合算）

資金収支計算書

（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

	科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)－(B)
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	198,085,000	196,562,865	1,522,135
	就労支援事業収入	115,958,000	113,606,577	2,351,423
	障害福祉サービス等事業収入	2,501,364,000	2,468,425,902	32,938,098
	貸付事業収入	54,302,000	54,301,384	616
	その他の事業収入	315,602,000	311,975,520	3,626,480
	経常経費寄附金収入	630,000	630,000	0
	受取利息配当金収入	861,000	808,786	52,214
	その他の収入	30,148,000	29,175,075	972,925
	事業活動収入計(1)	3,216,950,000	3,175,486,109	41,463,891
	支出			
	人件費支出	2,135,093,000	2,085,345,724	49,747,276
	事業費支出	695,318,000	671,616,120	23,701,880
	事務費支出	449,861,000	424,111,257	25,749,743
	就労支援事業支出	115,228,000	112,868,132	2,359,868
	支払利息支出	1,829,000	1,573,298	255,702
	その他の支出	19,368,000	18,802,852	565,148
施設整備等による収支	流動資産評価損等による資金減少額	54,000	52,875	1,125
	事業活動支出計(2)	3,416,751,000	3,314,370,258	102,380,742
	事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)	△ 199,801,000	△ 138,884,149	△ 60,916,851
	収入			
	施設整備等補助金収入	143,078,000	143,078,000	0
	施設整備等寄附金収入	5,000,000	5,000,000	0
	設備資金借入金収入	17,678,000	14,997,078	2,680,922
	施設整備等収入計(4)	165,756,000	163,075,078	2,680,922
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	22,913,000	20,050,741	2,862,259
	固定資産取得支出	371,550,000	368,057,841	3,492,159
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,118,000	2,117,664	336
	施設整備等支出計(5)	396,581,000	390,226,246	6,354,754
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)	△ 230,825,000	△ 227,151,168	△ 3,673,832
	収入			
	積立資産取崩し収入	603,657,000	586,664,957	16,992,043
	その他の活動収入	650,000	649,725	275
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	604,307,000	587,314,682	16,992,318
	支出			
	積立資産支出	163,625,000	150,422,085	13,202,915
	その他の活動支出計(8)	163,625,000	150,422,085	13,202,915
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	440,682,000	436,892,597	3,789,403
	予備費支出(10)	11,396,000		4,842,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	5,214,000	70,857,280	△ 65,643,280
	前期末支払資金残高(12)	587,230,000	577,191,212	10,038,788
	当期末支払資金残高(11)+(12)	592,444,000	648,048,492	△ 55,604,492

貸借対照表

（平成30年3月31日現在）

資産の部				負債の部			
科目名	当年度末	前年度末	増減	科目名	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,254,185,264	867,505,884	386,679,380	流動負債	703,229,960	377,096,535	326,133,425
現金預金	760,054,607	482,587,548	277,467,059	短期運営資金借入金		3,057,226	△ 3,057,226
事業未収金	347,819,179	365,378,435	△ 17,559,256	事業未払金	436,551,879	269,219,506	167,332,373
未収補助金	133,199,000		133,199,000	その他の未払金	126,313,390	653,442	125,659,948
貯蔵品	247,550	150,370	97,180	1年以内返済予定設備資金借入金	21,038,788	17,994,270	3,044,518
原材料	2,505,018	2,545,701	△ 40,683	1年以内返済予定リース債務	2,117,664		2,117,664
立替金	7,974,830	12,289,503	△ 4,314,673	預り金	32,764,371	7,954,126	24,810,245
前払金	970,976	546,721	424,255	職員預り金	7,694,221	6,879,791	814,430
前払費用	228,704	188,680	40,024	前受金	69,282	1,400	67,882
短期貸付金		3,057,226	△ 3,057,226	仮受金	238,611	3,480	235,131
仮払金	1,185,400	761,700	423,700	賞与引当金	76,441,754	69,215,630	7,226,124
固定資産	4,429,244,151	4,706,247,472	△ 277,003,321	固定負債	554,873,442	605,360,904	△ 50,487,462
基本財産	1,229,776,753	1,019,728,946	210,047,807	設備資金借入金	160,398,492	167,229,553	△ 6,831,061
土地	84,127,898	84,127,898	0	リース債務	705,888	2,823,552	△ 2,117,664
建物	1,130,648,855	920,601,048	210,047,807	退職給付引当金	292,422,379	335,434,992	△ 43,012,613
投資有価証券	15,000,000	15,000,000	0	全事協退職年金共済引当金	101,346,683	99,872,807	1,473,876
その他の固定資産	3,199,467,398	3,686,518,526	△ 487,051,128				
建物	34,298,084	20,296,904	14,001,180	負債の部合計	1,258,103,402	982,457,439	275,645,963
構築物	34,697,598	16,950,024	17,747,574	純資産の部			
機械及び装置	70,502,762	43,343,237	27,159,525	基本金	46,000,000	41,000,000	5,000,000
車輛運搬具	18,794,184	24,674,555	△ 5,880,371	第一号基本金	46,000,000	41,000,000	5,000,000
器具及び備品	54,485,847	49,267,024	5,218,823	国庫補助金等特別積立金	2,490,432,917	460,527,571	2,029,905,346
建設仮勘定	0	8,607,600	△ 8,607,600	その他の積立金	606,932,485	2,126,571,654	△ 1,519,639,169
有形リース資産	2,823,552	4,941,216	△ 2,117,664	貸付原資積立金	5,795,744	1,368,271,615	△ 1,362,475,871
権利	2,609,749	2,366,907	242,842	人件費積立金	223,577,301	228,474,171	△ 4,896,870
ソフトウェア	6,057,930	7,845,558	△ 1,787,628	施設整備等積立金	373,520,124	525,994,078	△ 152,473,954
長期貸付金	750,936,727	609,432,821	141,503,906	工賃変動額積立金	3,185,288	2,446,643	738,645
退職給付引当資産	292,422,379	335,434,992	△ 43,012,613	設備等整備積立金	854,028	1,185,147	△ 331,119
貸付原資積立資産	1,130,530,778	1,368,271,615	△ 237,740,837	次期繰越活動増減差額	1,281,960,611	1,963,396,692	△ 681,436,081
人件費積立資産	223,577,301	228,474,171	△ 4,896,870	(うち当期活動増減差額)	△ 2,200,875,250	677,320,356	△ 2,878,195,606
施設整備等積立資産	373,520,124	525,994,078	△ 152,473,954				
全事協退職年金共済預け金資産	101,346,683	99,872,807	1,473,876	純資産の部合計	4,425,326,013	4,591,295,917	△ 165,969,904
長期前払費用	570,070	570,300	△ 230	負債及び純資産の部合計	5,683,429,415	5,573,753,356	109,676,059
その他の固定資産	98,254,314	336,542,927	△ 238,288,613				
工賃変動額積立資産	3,185,288	2,446,643	738,645				
設備等整備積立資産	854,028	1,185,147	△ 331,119				
資産の部合計	5,683,429,415	5,573,753,356	109,676,059				

事業活動収支計算書

（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

	科目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)
サービス活動増減の部	収入			
	児童福祉事業収益	196,562,865	197,924,935	△ 1,362,070
	就労支援事業収益	113,606,577	110,655,047	2,951,530
	障害福祉サービス等事業収益	2,468,425,902	2,433,432,437	34,993,465
	貸付事業収益	42,207,000		42,207,000
	その他の事業収益	311,975,520	1,101,320,180	△ 789,344,660
	経常経費寄附金収益	630,000		630,000
	その他の収益	793,633	262,037	531,596
	サービス活動増減差額(1)	3,134,201,497	3,844,721,808	△ 710,520,311
	費用			
	人件費	2,051,033,111	2,046,940,597	4,092,514
	事業費	518,017,830	387,207,335	130,810,495
	事務費	425,056,537	366,685,332	58,371,205
	就労支援事業費用	112,908,815	108,787,086	4,121,729
	返還免除額		112,490,000	△ 112,490,000
サービス活動外増減の部	減価償却費	111,774,287	151,946,615	△ 40,172,328
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 161,785,878	△ 50,272,284	△ 111,513,594
	徴収不能額	52,875		52,875
	その他の費用		220,689	△ 220,689
	サービス活動増減費用計(2)	3,057,057,577	3,124,005,380	△ 66,947,803
	サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)	77,143,920	720,716,428	△ 643,572,508
	収入			
	受取利息配当金収益	808,786	1,101,987	△ 293,201
	その他のサービス活動外収益	35,058,334	29,414,482	5,643,852
	サービス活動外収益計(4)	35,867,120	30,516,469	5,350,651
	費用			
	支払利息	1,573,298	2,030,090	△ 456,792
	その他のサービス活動外費用	18,263,429	18,266,440	△ 3,011
	サービス活動外費用計(5)	19,836,727	20,296,530	△ 459,803
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)	16,030,393	10,219,939	5,810,454
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	93,174,313	730,936,367	△ 637,761,854
特別増減の部	収入			
	施設整備等補助金収益	143,078,000	2,100,000	140,978,000
	施設整備等寄附金収益	5,000,000	5,000,000	0
	固定資産受贈額	36,415		36,415
	特別収益計(8)	148,114,415	7,100,000	141,014,415
	基本金組入額	5,000,000	10,000,000	△ 5,000,000
	固定資産売却・処分損	238,081	13,601	224,480
	費用			
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 228,790	228,790
	国庫補助金等特別積立金積立額	2,149,786,371	50,931,000	2,098,855,371
	その他の特別損失	287,139,526		287,139,526
	特別費用計(9)	2,442,163,978	60,715,811	2,381,448,167
	特別増減差額(10)=(8)－(9)	△ 2,294,049,563	△ 53,615,811	△ 2,240,433,752
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 2,200,875,250	677,320,356	△ 2,878,195,606
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0
	法人税等調整額(13)	0	0	0
繰越活動増減差	当期活動増減差額(14)=(11)－(12)－(13)	△ 2,200,875,250	677,320,356	△ 2,878,195,606
	前期繰越活動増減差額(15)	1,963,396,692	1,843,428,593	119,968,093
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	△ 237,478,558	5,250,748,955	△ 2,758,227,513
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	1,640,300,675	294,454,397	1,345,846,278
	その他の積立金積立額(19)	120,861,506	851,806,660	△ 730,945,154
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)－(19)	1,281,960,611	1,963,396,692	△ 681,436,081

人事異動

新規採用

(平成30年4月1日付)

水内荘支援員／滝澤宏祐(支援課)、大久保遥佳(支援課)

みのちグループホームセンター 支援員／萩原真理

八雲日和 支援員／今井真由美

信濃学園 支援員／多賀谷瑞恵(支援課)、金子杏弓(支援課、越前実(支援課))

松本あさひ学園

主事／横内しおり(総務課)

松本ひよこ 主事／百瀬亜矢、支援員／青木万織

大北圏域障害者就業・生活支援センター 支援員／丸山朋子

ほっと上伊那 支援員／木下隆文、支援員／牛丸達郎

ほっとジョイブ 支援員／杉山有介

西駒郷 主事／野口和晃(総務課)、支援員／齊藤満(企画調整課)、仲平将(ひまわり支援課)、戸枝めぐみ(ひまわり支援課)、上谷海(さくら支援課)、池上くら(駒ヶ根日中支援課、新川由美(わく富田))

障がい者福祉センター

主事／吉澤千恵子(総務課)、指導員／原田和樹(スポーツ課)、指導員／荻野光(スポーツ課、指導員／齋場七子(スポーツ課)、指導員／井澤治樹(スポーツ課))

事業所間異動等

(平成30年4月1日付)

水内荘 総務課長／仙仁健一(再)、支援員／日向好美(信濃学園支援員)

みのちグループホームセンター 支援員／荒井弘一(小春日和支援員)

歩楽里 支援員／浅井美奈子(みのちグループホームセンター支援員)

小春日和 支援員／河原崎ひかる(八雲日和支援員)

長野市地域活動支援センターこぶし 所長／小宮山紀道(再)

信濃学園 所長兼総務課長／森岡恵子(再)、支援課長／長田基佳(再)、支援員／竹内夏希(西駒郷支援員)

松本あさひ学園 心理治療員／中島優香(松本児童相談所推進員)、支援員／福澤高寛(西駒郷支援員)

松本ひよこ 支援員／中嶋勇一(松本あさひ学園支援員)

大北圏域障害者就業・生活支援センター 所長／池田裕恒(大北圏域障害者就業・生活支援センター係長)

ほっと上伊那 所長／矢花尚利(再)、係長／藤原健(松本ひよこ係長)、主事／茂木誠(ほっとグループホーム伊北／伊南／居宅主事、支援員／奥村志穂、小池心平、松尾楓(ほっとグループホーム伊北／伊南支援員)、坂井妙子(ほっとグループホーム伊北／伊南支援員))

ほっとジョイブ 所長／三澤淳子(ほっとワークス・みのわ所長)、支援員／柘植健司、小林明善(ほっとワークス・みのわ支援員)、小林かをる(松本ひよこ支援員)

西駒郷 所長兼宮田支援事業部長／塩沢総夫(再) 総務課長／唐木字(再)、庶務係長／安田類也(西駒郷主任、企画調整課長兼調整係長／松田光弘(再)、地域生活支援係長／落合尚子(西駒郷主任支援員)、心理・支援員／宮入晃二(松本あさひ学園心理治療員)、支援員／市村明美(信濃学園支援員))

障がい者福祉センター 次長兼総務課長／幸村宏(再)、総務課係長／佐藤憲司(障がい者福祉センター企画係長、指導員／小野智子(長野県障がい者スポーツ協会出向))

職員派遣・交換研修等

(平成30年3月31日付)

中央児童相談所(松本あさひ学園所属) 推進員／宮島真理(信濃学園心理・支援員※事業団職員)

松本あさひ学園 心理治療員／櫻井賢成(松本児童相談所※県職員)

退職

(平成30年3月31日付)

水内荘 支援員／佐藤晶子

歩楽里 支援員／小林和弥

長野市地域活動支援センターこぶし 所長／小宮山紀道

信濃学園 所長兼総務課長／森岡恵子、看護師兼支援員／野村博美、支援員／岡村美咲

辰野町障がい者就業支援センター 専門員／小池忠昭

辰野町地域活動支援センター 支援員／戸野倉真紀

西駒郷 所長／塩沢総夫、支援員／中村陽一、南菜緒、伊藤翔、折井幸雄

障がい者福祉センター 指導員／砂川愛花

(平成30年4月30日付)

信濃学園 看護師兼支援員／有山礼子

(兼)他職との業務職員

(再)退職後、再雇用職員等

◆平成29年度寄付一覧

寄付申出者	寄付先	寄付内容
長野ブロック事業所協力会様	八雲日和	5,000,000円
市川栄子様(利用者の家族)	西駒郷	300,000円
株北澤電機製作所様	西駒郷	300,000円
ザ・ビッグ山形店様	信濃学園	クリスマスケーキ等
友田自動車様	水内荘ほか	車両3台
矢花尚利様(職員)	松本ひよこ	除雪機1台
宮之本一宏様(元職員)	みのちグループホームセンター	車両1台

高澤産業株式会社様のご厚意により信濃グランセローズの観戦券をいただきました。試合球場に近いこともあり、歩楽里利用者は複数回観戦させていただいており、サインボールをいただいたこともありました。今後、近隣の事業所対抗の野球大会も計画中です。高澤産業様、信濃グランセローズの皆様ありがとうございます！

【歩楽里】信濃グランセローズの試合観戦



プレゼント「『こむぎ工房』パウムクーヘン」

ほっとジョイブ

支援員 小林かをる からのメッセージ



ほっとジョイブのパウムクーヘンは、新施設開設に合わせて新商品として生産が始まり、5月中旬から販売しております。卵、バター、生クリームをふんだんに使用し、風味豊かなラム酒で香り付けされた、しっとり、フワフワの食感がたまらない一品です。サイズは4センチホール(直径13～15センチ、厚み4センチ)と1/4カット(食べきりサイズ)を用意しており、イベント月(クリスマスなど)には、特別販売として5センチホールも準備しています。皆様に愛され、主力商品のパンと肩を並べる名物商品を目指して頑張ります。ぜひ一度、ご賞味ください。

事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて本部事務局までお寄せ下さい。11月末までに寄せいただいた方の中から抽選で、「ほっとジョイブ『こむぎ工房』パウムクーヘン」を5名の方にプレゼントいたします。

なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(プレゼントの発送は12月頃を予定しています)



編集後記

今回の特集記事では、ほっとジョイブの開所を掲載させていただきました。この建物には各所に様々なパウムクーヘンの形が取り入れられております。パウムクーヘンがどこに隠れているのかを探してみても楽しいかもしれませんね。是非お越しください。地域の皆様、利用者の皆様にとってほっとする居場所となるよう、職員一同日々前進していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。(森)

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F
tel: 026-228-0337 fax: 026-228-0310
URL: <http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/>